アセスメントに関する項目（神谷花子事例）

NO.2-3

令和５年４月７日現在

項　　目	状　況
健康状態	病名：脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、陳旧性脳梗塞、糖尿病、高血圧症 麻痺：左上肢に軽いしびれがある。（利き手は右） 症状：痛みの強い時は立ち上がる事も歩くこともできない。左上肢に軽い痺れ 痛み：(有)（座骨神経痛、腰痛、膝の痛み、手足のしびれ）・ (無) 拘縮：有（　　）・ (無) 褥瘡：有（　　）・ (無) 身長：155 ㎝　体重：42 ㎏　BMI：17.48 血圧：145／95mmHg
	服薬：降圧剤、鎮痛剤、本人管理だが飲み忘れあり長女が確認（土・日）
	本人の健康に対する意識：定期受診や服薬への意識がある一方で管理状況は忘れがちになってきた。 かかりつけ医：長谷川内科クリニック　長谷川博先生　受診状況：２週に１回 他に整形外科にも月１回通院 かかりつけ歯科医：駅前歯科クリニック　宮川俊二先生　受診状況：部分義歯作成時以来通院なし かかりつけ薬剤師：本町薬局　　服薬：(有)（降圧剤、鎮痛剤　　）(無)
ＡＤＬ	食事：手にしびれはあるが茶碗は持って自力で食べる。 排泄：朝と夜トイレまでの移動を夫に付き添ってもらう。 入浴：浴室までに段差があり、浴槽への出入りのまたぎが難しく、長女が土曜日か日曜日に来て介助する。 更衣：概ね時間をかけて一人でするが、身体が硬く靴下は夫に履かせてもらう。 整容：朝、台所で洗顔も歯磨きも、部分入れ歯も自分で洗う。 移乗：便座への移乗は一人でしているが不安定なため介助が必要な状態。 移動：屋内はつかまり歩行で、見守り。屋外は、歩行見守り。 寝返り：つかまれば可 起き上り：つかまればできるが、布団使用で夫に起こしてもらい二人で転びそうになったことがある。 座位保持：自立 立位保持：自立も直ぐにつらくなる。 階段昇降：つかまれば一人で出来る（夜間トイレ移動時段差あり夫付き添い）

Ｉ Ａ Ｄ Ｌ	調理：数回したものの、ほとんどしていない。 洗濯：していない。日曜日に長女が訪問して行う。 買物：していない。日用品は長女、惣菜は夫が買ってくる。 掃除：していない。日曜日に長女が訪問して行う。 金銭管理：夫が行う。 電話：かかってきた電話をとることは可能。 交通機関の利用：一人では難しい。受診時はタクシー利用 車の運転：運転経験なし。
認知機能や判断能力	何度か調理をしたが味付けが毎回違う。同じ事を繰り返し話したり聞いたりする。タンスに自分の持ち物を出し入れしたり、外出時に手提げ袋の中身を出したり入れたりを繰り返す。 行動・心理症状はなし。
コミュニケーションにおける理解と表出の状況	視力：問題なし。聴力：問題なし。 痛みが激しいときは、話がかみ合わないことがある。 コミュニケーション関連機器の使用はない。
生活リズム	保育士と子育てしていた頃からの習慣で6時半には目覚め、夫にトイレについてきてもらう。身支度をしている間に夫が朝食を準備してくれ7時半には食べる（夫が休みの時は8時半)。食器を洗い、その後はテレビを観て過ごし、昼食は、一人の時はお腹が空かないのでお菓子で済ます。夫が休みの時は13時頃食べる。広告を眺め読み終わるとゴミ箱になるよう折る。新聞は料理の記事だけ読む。夫が帰宅し早いと17時、遅い時は19時くらいに夕食を摂る。就寝は21時。昼夜逆転はない。服薬と水分摂取は適宜声掛けや見守りを受けながらしている。
排泄の状況	尿意・便意はあるが、痛み等により間に合わなかった事が一度あった。 トイレは寝室の横にあるが、トイレまでのアクセスに段差がある。 排便は４日に１度程度。
清潔の保持に関する状況	入浴は週に一度（土か日)。整容は朝台所で、洗顔と歯磨きを一緒に行う。 皮膚や爪に異常はないが足の爪は夫が切っている。寝具や衣類の交換や洗濯は週に一度長女が行う。
口腔内の状況	前歯の上４本が部分入歯。歯磨きは朝食の時に自分で行う。かみ合わせの問題についての訴えはない。介護支援専門員による確認では、歯の汚れ、舌苔、口臭、口腔乾燥、歯肉の腫れ、出血はみられない。
食事摂取の状況	普通食摂取。食べる量は減っている。夫が仕事の時は、昼食はお菓子で済ませる。食事は米飯と漬物や惣菜が中心で、野菜や肉、魚等を残しがち。医師からは低体重のため糖尿病食の必要性はなくバランスの良い食事で栄養改善を図るよう指導されている。高血圧もあり減塩食の継続も指示されている。 一日の水分量は700 ㎖で摂取を勧めてもトイレが近くなるから控えている。
社 会 と の関わり	今年の４月より閉じこもった生活をしている。家庭内では簡単な調理や片付けを行う。長男の工務店で夫は働いているが、長男の訪問は不定期。長女は近所に住んでいるが共働きのため、土・日のみ訪問。町田さんという、ハイキング仲間でお茶のみ友達がいるが、４月以降来ていない。 保育士をしていた時の教え子が、自分の子供を連れて、年に何回か訪れる。2月以降きていない。

家族等の状況	家族関係は良好。夫と二人暮らし。主介護者は夫だが、家事全般を本人が行ってきたことから家事経験はない。最近は惣菜を買ってきたりご飯を炊いたりしてくれている。不定期だが、隣町で工務店を経営している長男のところで大工仕事をしている。すこし、身体が弱くなっている。性格は職人気質で頑固。 長女は近所に住んでいるが、就労しているので、本人宅に訪問するのは土・日の休みの時になるので、長女の休息に配慮が必要。
居 住 環 境	住宅街にある２階建ての戸建てで持ち家。住んで 40 年。夫が大工であるため、家のしつらえは夫が手を加えている。自室は 1 階、生活空間は 1 階。2 回スペースの利用はない。寝具は布団。 段差が多く浴室までは部屋の仕切りごとに段差がある。トイレは 1 階の寝室の横にある。トイレの入口に 5cm の段差、廊下から居室までの段差 10cm
その他留意すべき事項・状況	経済：本人の年金　厚生年金　15 万円／月 　　長男家族、長女家族からの支援も可能 ストレス：病気が増悪したために、不安を感じている。 意欲：2 ヶ月くらい前まで調理をしていたが、夫が毎回、味が濃いとか薄いとか言うので自信を無くしている